

令和6年度 3年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	1単位 (2コマ)	履修年次	3年次	
科目名	論理国語	履修	共通履修	開講	通年	
教科書	論理国語(大修館)	副教材	・大学入試漢字TOP2500 三訂版(いっずな書店) ・評論速読トレーニング2000(数研出版)			
1 学習の目標						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。						
2 学習の方法						
①授業について 授業は週2コマで、評論を中心に学ぶ。また、「知識および技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう力」の育成のため、グループワーク等を実施する。						
②クラスについて 授業はHR単位で行い、内容によっては図書室・特別教室を使用する場合がある。						
③ノートについて 一冊のノートを用意し、配布されたプリントを貼り付けたり、板書を書き写したり等、各自で整理する。また、配布されたプリントを綴じ込むファイルを用意する。						
④小テストについて 授業の中で副教材等を用いて小テストを適宜実施し、理解の定着を確認する。						
⑤課題テストについて 適宜単元テストを実施する。「知識・理解」の定着を目的とするもので、基準点に達していない場合は、再テストを実施する場合がある。						
⑥週末課題・レポート等について 様々な種類の文章や問題に慣れ、「読む能力」「書く能力」「知識・理解」を更に向上・充実させることを目的として、定期的に副教材等を用いた週末課題に取り組む。						
⑦授業の際に必要な物 教科書・ノート・副教材・国語辞書(電子辞書可) 必要に応じて事前に用意するものを連絡する。						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。					
思考力・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。					
主体的に学習に取り組む態度	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。					
②評価の方法						
材料 観点	定期 考査	単元 テスト	小テスト	週末課題・ レポート	ワーク シート	グループ ワーク
知識・技能	○	○	○	○	○	
思考力・判断・表現	○	○	○	○	○	
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	○
4 その他						
○ 主体的に学習に向かう姿勢を求めます。「教えられる」ではなく、「学ぶ」よう努めてください。 ○ 「知識」を「活用」して「考える」学習をしてください。						

5 単元の目標・評価	
単元名	1 論理の展開を理解し、筆者の主張を読み取ることで自分の考えを持つ。
単元の目標	○対比の意図や具体例とまとめの関係を的確に捉える。 ○相手に応じた適切な表現を選んで書く。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 「書くこと」において、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。

単元名	2 本文と資料の関係性を批評により把握し、内容・構成を理解する。
単元の目標	○対比的な概念を的確に捉え、筆者の主張をつかむ。 ○対比しながら論じることの効果を理解する。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 情報と情報との関係について理解を深めている。

単元名	3 具体例と主張の関係性を的確にとらえる。
単元の目標	○具体例と筆者の主張との関係を的確に捉える。 ○仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使っている。

単元名	4 要旨を的確に把握し、自分の考えをまとめる。
単元の目標	○問題提起と答えとをつなぐ論理の展開を的確に読み取る。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。

単元名	5 書き手の意図を理解し、自分の考えを論述する。							
単元の目標	○筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ○異なる立場の主張について、共通点・相違点をつかむ。							
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度		思考・判断・表現				知識・理解	
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。		「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。				文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。	

単元名	6 自分の考えを討論することで、書き手の目的を考え、内容の解釈を深める。							
単元の目標	○具体的な説明と抽象論との関係を捉える。 ○テーマを具体化・焦点化し、掘り下げる。							
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度		思考・判断・表現				知識・理解	
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。		「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考え、内容の解釈を深めている。 「書くこと」において、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。				文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。	

単元名	7 様々な資料を調べ、多様な論点を持ち、新たな観点から自分の考えを深める。							
単元の目標	○具体例との関係に注意しながら筆者の主張を捉える。 ○適切な問いを立て、必要な情報を収集する。							
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度		思考・判断・表現				知識・理解	
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。		「読むこと」において、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、新たな観点から自分の考えを深めている。 「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。				文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。	

単元名	8 複数の資料を比較し、情報を関連付けることにより、考えを深める。							
単元の目標	○筆者の思索の流れや論の展開のしかたを捉える。							
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度		思考・判断・表現				知識・理解	
評価規準	右記の「思考・判断・表現」の能力を身につけようとしている。		「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。				論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使っている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	

6 年間計画						
学期	月	単元		項目	予定 時数	考查
前期	4	1 論理の展開を理解し、筆者の主張を読み取ることで自分の考えを持つ。	「人はなぜ贈与するのか」 松村圭一郎	・対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえる。	6	前期中間 考查
	5	2 本文と資料の関係性を批評により把握し、内容・構成を理解する。	「記号的メディアと物理的メディア」 清岡卓行	・比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。 ・筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。	10	
	6	3 具体例と主張の関係性を的確にとらえる。	「消費されるスポーツ」 多木浩二	・グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。 ・日本社会の特徴について、理解を深める。	8	前期期末 考查
	7					
	8	4 要旨を的確に把握し、自分の考えをまとめる。	「猫は後悔するか」 野矢茂樹	・小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の主張をとらえる。 ・科学に対する筆者の主張について自分の知識や経験などにもとづいて考えをもつ。	10	
後期	9	5 書き手の意図を理解し、自分の考えを論述する。	「多数決を疑う」 坂井豊貴	・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関心に興味をもち、考えを深める。	10	後期中間 考查
	10	6 自分の考えを討論することで、書き手の目的を考え、内容の解釈を深める。	「日常に走る亀裂」 鷲田清一	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・デジタル地図のもたらす変化について考えを深める。	10	
	11	7 様々な資料を調べ、多様な論点を持ち、新たな観点から自分の考えを深める。	「生物の多様性の恩恵」 鷲谷いづみ	・論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。 ・言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。	8	後期期末 考查
	12	8 複数の資料を比較し、情報を関連付けることにより、考えを深める。	「無常ということ」 小林秀雄	・文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。 ・文明と海や人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。	8	

